

中国地区DMAT・DPAT 実働訓練に 参加しました

- メンタルヘルス講座令和6年度から再開いたします!!
- 限度額適用認定証の申請が不要になりました!
- 接遇研修会「心を伝えるカタチ」
- ZIKEI NEWS
- シリーズ【作業療法】第2回

夾竹桃

きょう ちくとう

Zikei Hospital PR Magazine
"OLEANDER"

Spring

はる

2024



世羅高原(広島県・世羅町)

中国地区 DMAT・DPAT 実働訓練に 参加しました

2023年11月25日（土）に台風による大規模災害での被災を想定した合同訓練に参加しました。当院では、入院患者及び職員の人命救助、病院内外の被害情報収集、他病院への重症患者の搬送訓練が行われました。

また院内訓練として、備蓄食料の炊き出し手順の確認、病棟業務を速やかに復旧させるためのBCP訓練を行いました。



事業継続計画（BCP: Business Continuity Plan）とは
大地震等の自然災害、感染症の蔓延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン（供給網）の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のこと。



災害派遣医療チーム（DMAT: Disaster Medical Assistance Team）とは

医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

災害派遣精神医療チーム（DPAT: Disaster Psychiatric Assistance Team）とは

精神科医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、自然災害等の大規模災害時に、知事の要請に基づき、被災地域において、専門性の高い精神科医療の提供、精神保健活動の支援を行う専門的なチームです。



病院がBCP対策を講じる必要性は、医療機関が災害時にも医療提供機能を確認することにあります。災害時には、利用できる建造物やライフライン、医療機器、人員が限られるため、平時よりも厳しい条件の中で医療提供機能を維持しなければなりません。また、災害による傷病者も医療機関を必要とするため、対応はより過酷になると考えられます。

BCP 訓練



① 台風による水害や停電を含む大規模災害が発生し、病院が被災
(設定シナリオに沿ってBCP訓練開始)



② 本館4階に慈圭病院災害対策本部を設置



③ 病院内の被害状況（人的被害・物的被害・システム被害）の情報収集



④ 災害対策本部で被害対応の検討を行い、本部長（院長）から対応指示の伝達



⑤ 広島県DMATや山口県DPATが到着し状況説明。重症度に応じた対応を検討



⑥ 他病院に重症患者さまの搬送の協力を依頼し、搬送者情報リストを作成し搬送



⑦ 搬送先病院での対応手順の視察



⑧ 病院では、備蓄食料の炊き出し手順を確認し、実食



⑨ 参加団体全体での振り返り

慈圭病院では毎月全部署の職員が参加した防災委員会を開催し、常にリスクの洗い出しを行い、BCPを更新しています。



メンタルヘルス講座 令和6年度から再開いたします!!

★当講座は岡山県生涯学習連携講座です★



当講座は地域の皆さまが病気や医療について知識を深め、健康増進・維持に役立てていただける情報をお届けする講座です。地域の皆さまと交流ができる貴重な機会と考えております。ぜひご参加ください。

ストレスの多い時代、よりよいこころの健康について学んでみませんか?

参加は自由
無料です

時間 ▶ 午前**10:30～11:45**

場所 ▶ 本館4階講義室

対象 ▶ 一般向けのお話です。民生委員、愛育委員、ボランティア参加希望者の方もどうぞ

■ 筆記用具をご持参ください

■ 必要な方は、羽織る物をお持ちください

通算回数	開催日	演題・講師
51	4月13日(土)	不安と落ちつかなさについて 城戸高志(病棟医長)
52	6月1日(土)	認知症について 石津秀樹(副院長)
53	10月5日(土)	大人の発達障害について 鷲田健二(副部長)
54	12月7日(土)	女性のメンタルヘルスについて 池田智香子(病棟医長)



引き続きコロナ感染対策を
行っております

- 体調不良の方は参加をご遠慮ください
- 病院内ではマスクの着用をお願いいたします
- やむを得ない事情で開催が中止となる場合は前日までにホームページに掲載いたします

お問い合わせはこちら

慈恵病院こころの健康啓発委員会

TEL:086-262-1191(代) FAX:086-262-4448

E-mail:hospital@zikei.or.jp URL:https://www.zikei.or.jp

限度額適用認定証の申請が 不要になりました！



限度額適用認定証とは？

窓口での支払が高額になる場合、自己負担額を所得に応じた限度額にするために医療機関に提出する証類です。

これまでは

医療機関の窓口での支払いを、自己負担限度額までにとどめるためには、
事前に申請し「限度額適用認定証」の準備が必要でした。



これからは

**「限度額適用認定証」がなくても
限度額を超える支払いが免除されます。**

ご利用方法

マイナンバーカードで受付の際に、マイナンバーカードリーダーの画面で「**限度額情報を提供する**」を選択してください。

● 新規ご入院の方

ご入院手続きの際、従来の「保険証」を提示し、「オンライン資格確認システムで限度額情報の確認を希望する」と生活支援福祉課員へお申し出ください。限度額適用認定証申請が不要となる場合がございます。

注意事項

以下に該当する方は、引き続き、限度額適用認定証の交付申請が必要です。

- 国民健康保険料の滞納がある世帯の場合
- 申請月以前12カ月に90日を超える長期の入院をされていて、食事療養費が減額の対象になる場合



詳しくは、西館1階医療福祉相談窓口（生活福祉支援課）
または、受付窓口までお声かけください。



接遇研修会

「心を伝えるカタチ」～ここに来てよかった！～



令和5年12月20日(水)に接遇研修会を開催しました。

講師を株式会社セイエル顧客支援室の川岡久朗先生にお願いし、『「心を伝えるカタチ」～ここに来てよかった！～』と題してお話いただきました。川岡先生は、医療機関を対象に接遇研修、マナーの基本、ハラスメント、医療安全等、研修の講師を年間200回以上務めておられます。今回学んだ内容をご紹介します。

患者さまから「この病院に来てよかった」「何かあったらここで診てもらいたい」と思われるためには、患者さまの期待に応え満足していただく必要があります。そのための接遇とは、患者さまの病気に対する不安や苦痛を少しでも和らげ、患者さまを大切に思う気持ちを言葉や態度に表す接し方です。

サービス（医療）を提供する際、顧客（患者さま）は自分の期待より実感が上回ると満足しますが、その期待はどんどん大きくなり要求される水準は下がることはありません。常に顧客（患者さま）の要望は何か、改善できることがあるか考えていかなければなりません。また、期待より実感が下回ると顧客（患者さま）は不満足な気持ちを持ち帰りますが、不満はあるが何も言わないという人がほとんどです。不満足な気持ちを持ち帰った人で直接クレームを伝える人は4%です。何が不満であるかを伝えてくれることは、反対にこちらに対しての期待が込められているという捉え方もできます。

患者さまに信頼されるためには第一印象が大切であり、相手を気遣う気持ちを表現するための作法がマナーです。マナーの五原則とは①身だしなみ②表情③あいさつ④言葉遣い⑤態度のことであり、これらを適切に表現することに加えて、患者さまの状況にあわせた気遣いができてこそ、医療人としての接遇であると言えるでしょう。

今回、接遇の土台は相手を大切に思う気持ちであり、大切な人への「おもてなし」と同じであると学びました。あらためて医療に接遇が必要な意味をよく考え、自分自身の立ち居振る舞いを振り返り、今回学んだことを意識して実践していきたいと思います。

患者さまが自分や家族が大切にされていると感じること。患者さまに慈圭病院に来てよかった、地域の皆さまに慈圭病院でよかったと満足していただくことを今後も目指して、思いやりの心をもって患者さまに接してまいります。



岡山市立浦安小学校の児童の皆さんから 感謝状をいただきました！

慈圭病院では登校時の「見守り活動」を行っています。
令和6年2月26日(月)に感謝の会が開催され、お礼の言葉、感謝状をいただきました。児童の皆さんから直接かけられる「おはよう」の一言は、とても励みになり、元気をもらえます。これからも、地域の皆さまと共に、安全・安心なまちづくりに一層尽力してまいりたいと思います。



シリーズ【作業療法】第2回 入院中の患者さまへの作業療法について

ご本人が希望する健康的な生活が送れるように、
必要な能力の回復や生活環境を整える支援

当院には精神科救急急性期
医療入院料病棟や療養病棟、
認知症治療病棟など、回復の
時期や疾患に応じた複数の病
棟があり、各病棟に作業療法
士が在籍しています。疾患や
回復の時期に応じ各病棟で必
要と考えられるプログラムを
計画、実施しています。入院
中の患者さまがより早く回復
し「ご本人が希望する健康的
な生活」が送れるように、必要
な能力の回復や生活環境を整
える支援をしています。

入院時には、ご家族やご本人
から入院前の生活の状況や
現在困っていること、目指し
ている回復のイメージ、今後
の希望などをお聞きます。

入院間もない時期は症状が
強く休息が必要な時期もあり
ます。一般的には休息がとれ
少しずつ混乱や症状が軽減し

はじめた頃から開始すること
が多いです。

具体的には、身体感覚や基
礎体力回復を目的とした体操
やウォーキングなどの運動プ
ログラム、集中力や遂行機能
の回復を目的とした創作活
動、再発予防のための学びの
場(心理教育)、生活リズムの
回復を目的とした習慣的な活
動、等です。

また、退院後に新たな生活
を始める人には、具体的な生
活の場を想定し、必要な生活
技能の体験や練習をするお手
伝いもしています。

そしてこれら利用するプロ
グラムはご本人と相談しなが
ら決定しています。

作業療法における作業とは、
ご本人にとって目的や価値を
持つ生活行為を指します。

食事や排せつなどのごく身
の回りの行為から、家事や買
い物などの生活に関する行
為、仕事や趣味、余暇活動な
ど様々な行為があり、どれも
ご本人にとってその価値には
違いがあります。

ご本人の本来持っている力
やその人らしさを大切に、
希望する生活ができるよう
応援していきます。

入院中は不安に感じること
も多々あると思います。気軽
に相談していただける関わり
を心がけ、皆さまの健康に寄
与できる作業療法でありたい
と思っています。





外来担当医師

完全予約制

令和6年4月1日現在

診療時間

9:00~15:00

初診/受付時間

8:30~11:00

専門外来

- アルコール
- もの忘れ
- 禁煙
- セカンドオピニオン
- 青年期

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
再診	岡田 志保 鹿野 真代 松田 旭生	石津 秀樹 難波 多鶴子 武田 俊彦 渡部 一予 池田 智香子 青木 省三	堀井 茂男 山内 裕子 城戸 高志 的場 翔也 栗山 裕	武田 俊彦 石津 秀樹 安田 華枝	岡 沢郎 鷺田 健二 蜂谷 知彦 山下 理英子	定期的診察はありません
午前 専門外来	(アルコール初診) 山下 理英子	(アルコール初診) 担当医				
午後 専門外来		(アルコール再診) 堀井 茂男 山下 理英子 (禁煙) 的場 翔也	(もの忘れ) 石津 秀樹	(青年期) 担当医	(アルコール再診) 堀井 茂男 山下 理英子	

慈圭病院の理念

わが子でも安心して任すことのできる 精神科病院

創立以来、職員ひとりひとりが、患者さまとご家族の信頼にたる病院であるかを問い続けています。

五大基本原則

- 慈愛の医療**
ひとりひとりの患者さまに、慈愛と尊敬のこころをもって快適な医療を提供します。
- 最先端の精神科医療**
急性期医療からリハビリテーション、地域医療まで、良質で、最先端の精神科医療を実践します。
- 最高水準の医療倫理**
ヒューマニズムに根ざした至高の医療倫理を保ち、安全で安心、納得のいく医療を実行します。
- 積極的な地域貢献**
地域との連携を密接にし、精神科基幹病院としての役割をはたすとともに、こころの病の理解のための教育、啓発活動を積極的に行います。
- チャレンジ精神**
私たち病院スタッフは、常にチャレンジ精神を忘れず、和の力を結集し、さらなる挑戦、実践を行います。

病院へのアクセス

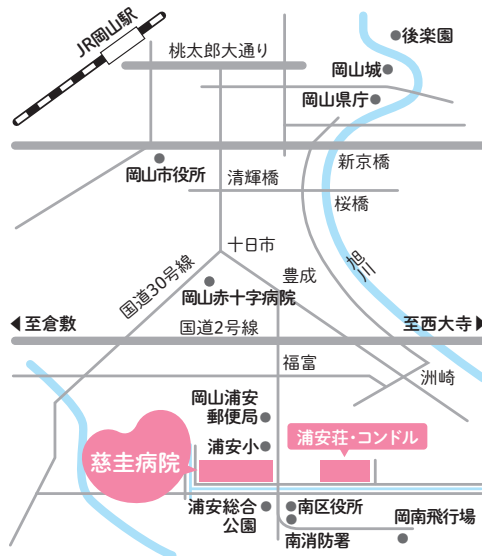
JR岡山駅より南へ約8km(浦安総合公園近く)

車で

広島方面から……国道2号線「青江」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分
大阪方面から……国道2号線「福富」で側道へ、「豊成」交差点を南へ約10分

バスで

岡電バス……JR岡山駅前より「浦安体育館・岡南飛行場行」に乗車、「慈圭病院」下車(岡山駅より約30分)



お問い合わせ

(086) 262-1191 受付時間 8:30~17:30

24時間

精神科救急対応
時間外・休日の急患対応いたします

ホームページもご覧ください <https://www.zikei.or.jp/>



ZIKKEI